

令和 2 年度 事業報告書

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家
聖アンナショートステイサービス

令和 2 年度 事業報告

《目標額及び達成額》

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家 入所定員 50名

目標額 200,000,000 円

達成額 198,670,890 円 達成率 99.3%

聖アンナショートステイサービス 入所定員 10名

目標額 33,600,000 円

達成額 38,195,376 円 達成率 113.6%

合計 目標額 233,600,000 円

達成額 236,866,266 円 達成率 101.3%

【目標達成について】

目標達成できた一番の理由は新型コロナウイルス感染が施設内において集団感染しなかったことである。感染予防対策を徹底したことで、インフルエンザやノロウイルスなどの感染者もなく、上半期、下半期とも比較的安定して稼働することができ、目標は達成できたと考える。特に上半期は施設入所者の入院も少なく、ショートステイの新規利用相談が病院や地域のケアマネジャーから定期的に連絡があったことで施設入所予定者をキープすることができた。

ただ、下半期は転倒骨折による入院が数件続いたことで空床が目立つようになった。そこはショートステイの空床利用により、多少は売り上げに貢献できたが、若干稼働率は低下となってしまった。

【事業目標について】

① 職場環境の改善

タブレットの購入、W i - F i 環境の整備、コードレスホンの導入など令和3年度以降の業務改善に向けて環境整備ができた年度となった。

② 地域との交流

令和2年度は全ての行事を施設内行事とし、職員のみで実施したことで、ボランティアや慰問の受入はなかった。

③ 修理修繕費用

業務用冷凍冷蔵庫やプラズマテレビ、オムツ交換用カートなど使用年数が長く不具合が出現してきた商品の買い替えを実施した。また玄関自動ドア、温冷配膳車が故障したため修理している。

感染対策の一環で在宅部署の移動により多目的ホールとして活用するために改修を実施。

④ 感染症対策

マスクの着用、手洗い・手指消毒や検温の実施、面会及び認定調査を中止するなど感染予防対策を徹底した。また補助金を活用して本館、新館の個室にそれぞれ陰圧装置を設置した。

災害用備蓄の整備についても検討しており、備品の確保に繋げている。

⑤ その他

介護事故（転倒・骨折）の件数が増加傾向となっている。

技能実習生2名の受入を開始した。

施設入所の申込件数については年々減少してきており、今後の新規利用者確保が課題となっている。

貴志川聖アンナの家 入院・退所者状況

資料1

	入院	入院退所	死亡退所	他施設入所	在宅
R2.4月	1名	1名	1名		
R2.5月			2名		
R2.6月					
R2.7月	1名			1名	
R2.8月	1名		1名		
R2.9月					
R2.10月	1名				
R2.11月	1名		1名		
R2.12月	1名		1名		
R3.1月	2名	1名	1名		
R3.2月	2名		3名		
R3.3月	1名		3名		
合計	11名	2名	13名	1名	
退所者 16名					

特 養

(令和2年4月～令和3年3月)

資料2

月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	11	11	10	10	11	11	11	11	12	12	14	16	140
女	40	41	40	41	40	39	39	40	39	39	37	37	472
合計	51	52	50	51	51	50	50	51	51	51	51	53	612

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
変更申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	9	9	9	10	10	7	7	7	6	6	5	5	90
要介護4	26	28	26	26	26	27	27	27	26	27	29	28	323
要介護5	15	14	14	14	14	15	15	16	18	17	16	19	187
合計	51	52	50	51	51	50	50	51	51	51	51	53	612

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	1487	1549	1500	1548	1530	1500	1533	1478	1530	1519	1371	1547	18092
稼働率	99.1%	99.9%	100.0%	99.9%	98.7%	100.0%	98.9%	98.5%	98.7%	98.0%	97.9%	99.8%	99.1%

月別目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	98.7%	99.8%	99.1%	99.3%	98.4%	99.5%	98.8%	98.3%	102.5%	101.7%	94.9%	100.9%	99.3%

月別利用人数

資料3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	5	6	6	6	6	5	5	5	6	5	4	2	61
女	12	7	7	7	9	8	9	7	10	10	11	13	110
合計	17	13	13	13	15	13	14	12	16	15	15	15	171

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
要介護1	1	1	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	8
要介護2	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	12
要介護3	7	6	6	5	3	1	1	1	1	2	2	4	39
要介護4	6	4	4	4	6	6	6	5	6	6	7	6	66
要介護5	3	2	2	3	3	4	4	4	5	4	3	2	39
合計	17	13	13	13	15	13	14	12	16	15	15	15	171

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	286	310	294	284	312	297	308	295	280	322	285	271	3544
稼働率	95.3%	100.0%	98.9%	91.6%	100.7%	99.0%	99.4%	99.5%	90.3%	103.9%	101.8%	87.4%	97.1%

月別目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	108.0%	112.0%	110.0%	93.0%	131.0%	119.0%	118.0%	115.0%	109.0%	124.0%	123.0%	101.0%	113.0%

令和 2 年度 事業報告書

聖アンナケアプランセンター

令和 2 年度実績

目標額＝54, 438, 270 円

実 績＝54, 863, 180 円

424, 910 円 (+)

達成率＝100. 7%

○ 特定事業所加算 I 算定事業所の維持継続について

・研修や勉強会等への参加を重ね、習得した技能、知識をケアマネジメントに活かし、利用者の利益にむすびつくことを目的に、特定事業所加算 I の算定を実行、継続している。

・主任ケアマネ在籍の維持について、現在は主任介護支援専門員 4 名が在籍している。受講要件を満たすものについて、3 年度も受講する予定である。

特定事業所加算 I については、要件の一つに中重度の利用者が 40 %以上とあるが、現在数%上回ってはいるが、不確定な要素であり、維持できるかどうかは不明である。

○ 介護給付請求件数月 250 件の確保

・新規相談には迅速に対応し、目標 3,039 件に対し、年間 3,078 件のケアマネジメント実績であった。

○ 委託事業の継続

・認定調査については新型コロナ対策として、実際の依頼を制限したこともあり、15 件の実績になっているが、これについては今後も状況に応じて対応していくものとする。

○ 研修、勉強会への積極的な参加

・法定研修ほか、地域包括支援センター開催の事例検討会、介護支援専門員協会主催行事、那賀病院がんネットワーク勉強会、那賀振興局主催の医療、介護の分科会へ参加予定であったが、新型コロナの対応のために欠席が多く、また開催中止もあり、外部研修への参加は少なくなった。

ただし、毎週の伝達会議において、基本的なケアマネジメントの手法だけでなく、周辺の知識や専門的な知識や技術向上のための研修を行い事業所内研修は充実したものとなった。

今年度も紀の川市の自立支援研修への事例提供・発表を行い協力した。

○ まとめ

冒頭にも述べたが特定事業所加算Ⅰの算定について、40%の確保が困難となりつつある。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、その対応に迫られた。事業所間の感染拡大を防ぐための事務所の移転や、テレワークの導入等、労働環境が変わりスタッフの変化への対応へのストレスも大きかった。そのようななかで、1年をとおして、試行錯誤しながら環境に慣れてきているところである。今後も新型コロナウイルスの状況に応じて変化していくことが求められると考えられる。

来年度の課題として、引き続き新型コロナウイルスへの対応や、ICT など新たなツールの導入の加速化、介護保険制度の大幅な変更・報酬改定への対応など、引き続き変化に対応していくことが求められる。

※介護給付の部

その他の地域単位 10.00 計算

	介護 給付 請求	介護給付内訳		加 算 内 訳													月請求金額
		I 型	II 型	特事 I	初回	退院退所 I イ	退院退所 I ロ	退院退所 II イ	退院退所 II ロ	入院連携 I	入院連携 II	退院退所 III	ターミナル				
		1057単位	1373単位	500単位	300単位	450単位	600単位	600単位	750単位	200単位	100単位	900単位	400単位				
4月	256	142	114	256	11	2	0	0	0	0	0	0	0				¥4,388,160
5月	248	135	113	248	8	0	0	0	0	3	0	0	0				¥4,248,440
6月	250	133	117	250	12	1	0	0	0	0	0	0	0				¥4,302,720
7月	254	140	114	254	10	0	0	0	0	1	0	0	0				¥4,347,020
8月	267	148	119	267	19	0	0	0	0	0	0	0	0				¥4,590,230
9月	254	142	112	254	7	0	0	0	0	0	0	0	0				¥4,329,700
10月	265	146	119	265	9	2	0	0	0	0	0	0	0				¥4,540,090
11月	271	149	122	271	13	0	0	0	0	1	1	0	0				¥4,631,420
12月	258	146	112	258	8	1	0	0	0	0	0	0	0				¥4,399,480
1月	268	149	119	268	8	0	0	0	0	1	0	0	0				¥4,574,800
2月	248	142	106	248	5												¥4,211,320
3月	239	132	107	239	4					1							¥4,080,850
計	3078	1704	1374	3078	114	6	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	¥52,644,230

※委託事業の部

	予防支 援及び ケアマネ ジメントA	予防請求額		認定調査件数	調査請求額	月請求金額
		初回				
		300単位	431単位			
4月	41	1	¥179,710	4	¥13,200	¥192,910
5月	42	2	¥187,020		¥0	¥187,020
6月	43	0	¥185,330		¥0	¥185,330
7月	45	2	¥199,950	1	¥3,300	¥203,250
8月	43	0	¥185,330		¥0	¥185,330
9月	43	2	¥191,330		¥0	¥191,330
10月	41	0	¥172,400	7	¥23,100	¥199,810
11月	41	1	¥175,400	3	¥9,900	¥185,300
12月	40	1	¥178,400	0	¥0	¥178,400
1月	40	0	¥172,400	0	¥0	¥172,400
2月	38	1	¥166,780		¥0	¥166,780
3月	39	1	¥171,090	0	¥0	¥171,090
計	496	11	¥2,165,140	15	¥49,500	¥2,218,950

¥54,863,180

※月別目標額

	月 別 目 標	累 計	実績	差額
4月	¥4,479,750	¥4,479,750	¥4,581,070	¥-101,320
5月	¥4,479,750	¥8,959,500	¥4,435,460	¥44,290
6月	¥4,479,750	¥13,439,250	¥4,488,050	¥-8,300
7月	¥4,532,640	¥17,971,890	¥4,550,270	¥-17,630
8月	¥4,532,640	¥22,504,530	¥4,775,560	¥-242,920
9月	¥4,532,640	¥27,037,170	¥4,521,030	¥11,610
10月	¥4,566,850	¥31,604,020	¥4,739,900	¥-173,050
11月	¥4,566,850	¥36,170,870	¥4,816,720	¥-249,870
12月	¥4,566,850	¥40,737,720	¥4,577,880	¥-11,030
1月	¥4,566,850	¥45,304,570	¥4,747,200	¥-180,350
2月	¥4,566,850	¥49,871,420	¥4,378,100	¥188,750
3月	¥4,566,850	¥54,438,270	¥4,251,940	¥314,910
合計	¥54,438,270		¥54,863,180	¥-424,910

達成率 100.7%

令和 2 年度 事業報告書

聖アンナ訪問看護ステーション

聖アンナ訪問看護ステーション 事業報告書

1.令和2年度目標額 62,400,000

2.令和2年度達成額 61,289,600

3.実績報告について

- ・看護職員数の変動あり、常勤職員5名（内2名は准看護師）・非常勤職員2名で月訪問件数600～700件平均に対応
- そのうち夜間帯の緊急訪問への対応が迅速に対応はできている
- ・医療訪問件数の増加とショートステイ・デイサービスへの医療連携サービスの充実・デイサービスへの緊急時対応もできた
- ・グループホームへの連携もコロナ感染状況を見据えながら、実施。
- ・介護保険対象者への軽度からのサービス利用により病状の悪化時に対応できたことも良かった点である
- ・ターミナル期の方にも理学療法士と連携しサービスの提供が実施できた

4.事業計画の実施について

- ・これからの方向性は医療従事者と利用者様・家族様の双方に医療とは両者の共同作業であるという視点に立ちケアを行う
 - ・住み慣れた地域でその人らしく生活し、希望する生き方を選択し在宅での看取りが選べるようにする
 - ・個人の尊厳の保持を支えていく
 - ・地域に密着した事業所であることを基本とし社会資源の活用等のアドバイスを実施
 - ・感染症対策も実施し、事業継続に対応する
- 以上のことを踏まえ
- ・訪問看護の更なる普及を目指す。
 - ・多様な在宅医療ニーズに対応できるように専門性の深化に努める。
 - ・個別ニーズに対応する為利用者様の声に耳を傾け次のサービスへの展開を念頭に置く。
 - ・新規利用者さまの獲得に向け、PR活動の強化。
 - ・在宅診療に熱心な主治医との連携強化。
 - ・研修（ウエブも含め）への積極的参加により質の向上を図る。
 - ・新規採用職員の教育により質の向上を図るとともに意欲ある優秀な人材育成に努める。
 - ・ショートステイ中の方や小規模多機能型通所介護との連携を深め利用者獲得を図る。
 - ・他職種との連携強化→聖アンナ訪問看護の認知度を更に高める。
 - ・緊急時や夜間帯の対応の強化を図り、加算を確実に算定できるようにする。
 - ・予防の観点からも早期からの利用の促進を図る→ケアマネへの働きかけ。
 - ・24時間、対応できる体制があることや重症者の受け入れを積極的に行い、医療介護のケアマネジメント機能を発揮、地域全体の在宅療養生活の環境整備に貢献していく。
 - ・精神科訪問看護の利用者の確保及び増加
 - ・理学療法士によるリハビリの援助の拡充を図っていく
 - ・保険外の実費サービスの検討を進めていく

聖アンナ老人訪問看護ステーション実績報告書

R2年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数		74	73	74	74	72	75	76	77	74	78	80	69	896
	(男)	30	29	28	26	24	25	27	30	27	29	30	24	329
	(女)	44	44	46	48	48	50	49	47	47	49	50	45	567
新規利用者	新規	8	5	4	3	6	7	4	3	2	4	5	1	52
	再開	1	0	0	0	0	2	0	1	2	1	0	0	7
利用終了者	死亡	2	3	2	2	4	3	2	5	2	0	7	1	33
	中止	1	1	1	0	6	0	0	0	2	2	2	1	16
医療保険(人数)		18	19	19	20	18	18	19	18	18	18	23	16	224
(回数)		252	291	235	301	309	299	287	220	219	235	286	280	3214
介護保険(人数)		60	59	59	59	61	66	64	63	59	66	62	54	732

令和 2 年度 事業報告書

デイサービスセンターたかお

令和２年度デイサービスセンターたかお事業報告書

1. ２年度目標額：６８,１７２,０００円

2. ２年度売上額：６８,８６６,４４０円

3. 達成率１０１％

4. 目標達成について

- ・利用者全体の体調不良等なく稼働率の上昇。
- ・外部居宅介護支援事業所の新規受け入れの増加
- ・現存の利用者について利用日増加が見られた。

5. 事業計画の実施について

1、通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス

2、年末年始を除く月曜日から土曜日、祝祭日の事業の実施。

3、介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、利用者一人ひとりの身体的・精神的状況やニーズを把握し、当事業所にて通所介護計画書を作成し、そのサービスを提供することが出来た。

4、常日ごろから利用者家族と積極的にコミュニケーションをとる事により、信頼関係を築き、お互いに協力し合える環境作りができた。

5、日々のレクリエーションの中で個々の利用者の状況や好みに応じた選択メニューを作り参加して頂く。また、外出行事が出来ない為、新しい行事として、ショッピングに代わる移動ショッピングやクッキングに代わるクッキングショーなどコロナ対策を考えた行事を提供できた。

6、新型コロナウイルス感染拡大に対し、法人全体及び各事業所内においても感染予防の取り組みを実施した。マスク着用の徹底、アルコール消毒、検温チェック、３密回避、アクリル板の設置など。

(デイサービスセンターたかお)

令和2元年度 通所介護事業（要介護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）集計 令和2年4月1日～令和3年3月31日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員（月 間）				一日当り 平均人数
				基本事業	入 浴	食 事	実 施 日 数	
4月	54	550	923	550	392	531	26	21.1
5月	51	539	898	539	384	514	26	20.7
6月	59	610	1039	610	453	586	26	23.4
7月	54	617	1047	617	455	592	27	22.8
8月	57	590	995	590	431	564	26	22.6
9月	55	590	989	590	424	565	26	22.6
10月	53	610	1023	610	443	580	27	22.5
11月	57	558	931	558	396	535	25	22.3
12月	58	567	929	567	385	544	25	22.6
1月	54	547	893	547	368	525	24	22.7
2月	54	567	940	567	396	544	24	23.6
3月	55	642	1059	642	443	616	27	23.7
合 計	661	6987	11666	6987	4970	6696	309	22.5

(デイサービスセンターたかお)
令和２年度 介護予防通所介護相当サービス事業（事業対象者・要支援１・２）
集計 令和２年４月１日～令和３年３月３１日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員（月 間）			
				基本事業	食 事	実 施 日 数	一日当り 平均人数
4月	22	130	130	130	130	26	5.0
5月	19	130	130	130	130	26	5.0
6月	22	158	158	158	158	26	6.0
7月	23	176	176	176	176	27	6.5
8月	27	135	135	135	135	26	5.1
9月	21	147	147	147	147	26	5.6
10月	21	151	151	151	151	27	5.5
11月	20	134	134	134	134	25	5.3
12月	20	134	134	134	134	25	5.3
1月	17	116	116	116	116	24	4.8
2月	19	126	126	126	126	24	5.2
3月	20	149	149	149	149	27	5.5
合 計	251	1686	1686	1686	1686	309	5.4

(デイサービスセンターたかお)

令和元年度 地域生活支援事業集計 令和2年4月1日～令和3年3月31日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員 (月 間)			一日当り 平均人数
				基本事業	食 事	実 施 日 数	
4月	1	4	4	4	4	26	0.15
5月	1	4	4	4	4	26	0.15
6月	1	3	3	3	3	26	0.11
7月	1	4	4	4	4	27	0.14
8月	1	2	2	2	2	26	0.07
9月	0	0	0	0	0	26	0
10月	0	0	0	0	0	27	0
11月	0	0	0	0	0	25	0
12月	0	0	0	0	0	25	0
1月	0	0	0	0	0	24	0
2月	0	0	0	0	0	24	0
3月	0	0	0	0	0	27	0
合 計	5	17	17	17	17	309	0.12

年間行事表

デイサービスセンターたかお

	行 事	行き先・メニュー	実施日
4月	お花見ゲーム大会	デイフロア	1(水) 2(木) 3(金)
	クッキング	バナナクレープ	8(水) 9(木) 10(金)
	ボーリング大会	デイフロア	15(水) 16(木) 17(金)
	映画観賞会	デイフロア	29(水) 30(木) 5/1(金)
5月	スリッパ飛ばし	デイフロア	6(水) 7(木) 8(金)
	よもぎ餅つき会	デイフロア	13(水) 14(木) 15(金)
	ゲーム大会	デイフロア	20(水) 21(木) 22(金)
6月	クッキングショー	焼きそばパン	3(水) 4(木) 5(金)
	室内行事	デイフロア	10(水) 11(木) 12(金)
	お楽しみ演芸会	デイフロア	17(水) 18(木) 19(金)
7月	クッキング	あんみつ	1(水) 2(木) 3(金)
	室内行事	デイフロア	8(水) 9(木) 10(金)
	桃ツアードライブ	桃山方面 (八旗農園)	15(水) 16(木) 17(金)
	納涼流しそうめん	デイフロア	22(水) 23(木) 24(金)
8月	クッキング	カルピス味のスピードゼリー	5(水) 6(木) 7(金)
	室内レク	デイフロア	12(水) 13(木) 14(金)
	室内盆踊り大会	デイフロア	19(水) 20(木) 21(金)
9月	クッキング	フルーツホットケーキ	2(水) 3(木) 4(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	11(水) 12(木) 13(金)
	映画鑑賞会	デイフロア	16(水) 17(木) 18(金)
	クッキング	ねぎ焼き	30(水)
10月	クッキング	ねぎ焼き	1(木) 2(金)
	秋季展覧会	デイフロア	7(水) 8(木) 9(金)
	ミニ遠足	四季の里方面	14(水) 15(木) 16(金)
	室内行事	デイフロア	28(水) 29(木) 30(金)
11月	クッキング	豆乳フレンチトーストと紅茶	18(水) 19(木)
	移動ショッピング	デイ玄関前	3(火) 6(金) 17(火) 20(金)
	室内運動会	デイフロア	11(水) 12(木) 13(金)
	紅葉ドライブ会	根来寺方面	25(水) 26(木) 27(金)
12月	移動ショッピング	デイ玄関前	1(火) 4(金)
	忘年会	デイフロア	9(水) 10(木) 11(金)
	クリスマス会	デイフロア	16(水) 17(木) 18(金)
	手芸クラブ	デイフロア	23(水) 24(木) 25(金)
1月	新春行事	デイフロア	6(水) 7(木) 8(金)
	新年会	デイフロア	20(水) 21(木) 22(金)
	移動ショッピング	デイ玄関前	12(火) 15(金) 26(火) 29(金)
	手芸クラブ	デイフロア	27(水) 28(木)
2月	節分行事	デイフロア	2(火)
	手芸クラブ	デイフロア	3(水) 4(木) 5(金)
	移動ショッピング	デイ玄関前	9(火) 12(金) 23(火) 26(金)
	クッキング	チョコチップ入りクッキー	17(水) 18(木) 19(金)
3月	手芸クラブ	デイフロア	3(水) 4(木) 5(金)
	移動ショッピング	デイ玄関前	9(火) 12(金) 23(火) 26(金)
	初午お菓子まき	デイフロア	17(水) 18(木) 19(金)

※毎月の行事

移動ショッピング、クッキングショー、てくてく体操

令和 2 年度 事業報告書

グループホームたかお

グループホームたかお 令和2年度事業報告書

1.令和2年度目標額 35,040,000 円

2.令和2年度達成額 33,644,372 円

96.0%

3.目標不達成について

●令和2年上半期に1名の入居者が入院され、空床の期間がありました。その後、新規入居者が決まりましたが、間もなくし入院となり、若干の空床がありました。その後は、入院や退所者もなく満床となっています。

●令和2年3月現在、2名の入居申し込み者を確保しています。

4.事業計画の実施について

(1)運営推進会議を年間5回開催中止。

今年度につきまして、新型コロナウイルス感染拡大予防として、ホームでの開催は中止し、年5回の資料を紀の川市に提出しました。

(2)地域参加について

今年度につきまして、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、屋外での行事は中止しました。

(3)レクリエーションの充実

個人に合ったレクリエーションの提供について、書道教室やカラオケ大会、お誕生日会など実施しました。

(4)ボランティアの活用

今年度につきまして、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、面会禁止もあり、全面中止しました。

(5)地域密着型外部評価サービス

本年度、外部評価は実施しておりません。

入居者状況

(R2年4月～R3年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
女	8	8	8	9	8	8	7	7	7	7	7	7	91
合計	9	9	9	10	9	9	8	9	9	9	9	9	108

要介護度別状況

(R2年4月～R3年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
要介護 2	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	41
要介護 3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	25
要介護 4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	9	9	10	9	9	8	9	9	9	9	9	107
平均	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5

(R2年4月～R3年3月)

	月	保険請求額					合計
			自己負担金	居室代	共益費	食材料費	
令和2年	4月	1,701,858	184,272	232,200	96,640	205,200	2,420,170
	5月	2,013,142	220,460	251,100	102,980	243,900	2,831,582
	6月	2,001,573	219,907	243,000	102,600	248,000	2,815,080
	7月	1,928,993	211,923	223,200	94,240	223,200	2,681,556
	8月	2,359,511	259,264	272,700	115,140	272,700	3,279,315
	9月	1,929,091	211,937	228,600	94,240	223,200	2,687,068
	10月	1,928,993	211,923	223,200	94,240	223,200	2,681,556
	11月	2,087,306	229,331	242,100	102,220	242,100	2,903,057
	12月	2,156,535	236,939	251,100	106,020	251,100	3,001,694
	1月	1,886,269	236,909	251,100	106,020	251,100	2,731,398
	2月	1,868,636	205,302	217,800	91,960	226,800	2,610,498
	3月	2,156,269	236,909	251,100	106,020	251,100	3,001,398
令和3年	合計	24,018,176	2,665,076	2,887,200	1,212,320	2,861,600	33,644,372

令和 2 年度 事業報告書

特別養護老人ホームきしがわ園

令和２年度 特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

1. 令和２年度目標額 143,500,000 円

2. 令和２年度達成額 142,789,525 円

3. 目標額に対しての達成率 99.5%

4. 目標未達成について

今年度は利用日数 10,638 床で内、空床は 312 床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内 25 床となっている。目標は 10,403 床であった。年間 30 床がすべて満床としての稼働率は 97.1% で目標通りである。計画での平均介護度 3.7 であったが、実績でも 3.7 であった。空床について前年度は 594 床であったが、令和２年度は 312 床と減少した。

内訳として入院による空床が 222 床、退所後の入所までの空床が 90 床であった。今年度の入所者は 16 名として、1 名平均 5.6 日で入所となっている。稼働率が目標以上にあがらなかった要因として、入院による空床については、入院日数が多かったこと。入院を何度も繰り返していたケースでは退所のお話しをしても、在籍を希望された方もあった。退所後の入所者までの空床については、前年度より入退所者数が多く、その分入所までの日数がかからないように入所者の確保に努めたが退所者が 17 名と多く、入所の調整に要した回数も多かった。次点の待機者に声掛けしても入院中であったり、他の施設へ入所していたりと入所までに日数がかかったケースもあった。また今年度後期は、入所申込者の待機者が減少傾向にあり、対象者の人選に時間がかかった。空床利用については、短期入所の稼働率が上がらなかったため、25 床のみの活用であった。今年度は待機者がスムーズに入居できるように退所者の的確な状況把握と事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図る。稼働率を上げる維持が重要であり、今後も待機者の確保のため居宅介護支援事業・病院への周知により、ショート・施設共に満床利用を心掛け、目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事では入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴を実施できた。
- ③ レクリエーション、行事についてはその季節に合わせた内容で行い、入居者が楽しく過ごして頂けるよう努めた。ただ、外出行事等についてはコロナ禍のために行えなかった。
- ④ 介護計画書については、入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。また、24時間シートの活用によりユニットケアを推進させた。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生のリスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。

しかし、普段の連携については、新型コロナ禍において面会制限をしていたこともあり、少し対応に苦慮した。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

入居者の介護度の重度化、事故対策検討会議等の定期的開催により、1つ1つの事故対策を講じたこと、ヒヤリハットによる要因分析等により事故が未然に防げたと考える。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修（コロナ禍のため、オンライン研修の参加となった。）の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

各研修（認知症・人権等）の参加により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や論理を根付かせ、基本的人権を尊重し、尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

新型コロナウイルス感染症のため、ボランティアや実習生等の受け入れ、外出行事等は中止した。そのために、地域との連携・交流については行えていない。

今後も入居者と家族の信頼関係の構築に努め、かつ職員の質の向上、個人を尊重した介護の統一により、入居者が安心して楽しく生活してもらえるよう努めたい。また資格を持った職員の体制が整えば、算定できる加算も増えてくる為、職員の質の向上の為にも資格の取得が重要になると考える。

以上

在所期間別状況表

2021/04/23 10:03:25

1 / 1

基準日 : 令和03年03月31日

特別養護老人ホーム きしがわ園

サービス種類: 全て

在所年数	男性	女性	合計
0 ~ 5	9 名	20 名	29 名
5 ~ 10	0 名	0 名	0 名
10 ~ 15	0 名	0 名	0 名
15 ~ 20	0 名	0 名	0 名
20 ~ 25	0 名	0 名	0 名
25 ~ 30	0 名	0 名	0 名
30 ~ 35	0 名	0 名	0 名
35 ~ 40	0 名	0 名	0 名
40 ~ 999	0 名	0 名	0 名
計	9 名	20 名	29 名
平均在所期間	1 年 8 ヶ月 (623.0 日)	1 年 10 ヶ月 (673.0 日)	1 年 9 ヶ月 (657.0 日)

入所／退所狀況年間集計一覽表

2021/04/23 10:04:41

1/3

対象年度 .. 令和02年度

特別養護老人ホーム

サービス種類…全て

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所前状況	居宅	1	1	3	1	2	0	0	2	0	3	0	1	14
	医療機関	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	介護老人福祉施設	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入所前状況の合計	1	2	3	1	2	1	0	2	0	3	0	1	16

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所理由	介護者不在	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家庭不和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公的理由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護困難	1	2	2	1	1	1	0	1	0	2	0	1	12
	施設転園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	独居	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	4
	入所理由の合計	1	2	3	1	2	1	0	2	0	3	0	1	16

[illegible]

入所／退所狀況年間集計一覽表

2021/04/23 10:04:41
2 / 3

対象年度
： 令和02年度

特別養護老人ホーム きしがわ園

サービス種類：全て

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所理由	他施設移動	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	病院移動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院措置切れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他病院にて死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自己退所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院中に死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	1	2	0	1	3	0	0	2	1	2	0	1	13
	入院中に死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院が見込めない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域密着型移動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所理由の合計	1	3	2	1	3	0	0	2	1	2	0	2	17

[illegible]

要介護度別利用者数（スケジュール）（棒グラフ）

2021/04/23 10:09:05
1 / 2

対象年度： 令和02年度 出力形式： 実人数 サービス種類： 全て 特別養護老人ホーム きしがわ園

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定なし	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業対象者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要介護 2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	計	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護 3	男	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	6	50
	女	7	7	10	10	10	9	9	9	9	11	11	11	113
	計	10	10	13	13	14	13	13	14	14	16	16	17	163
要介護 4	男	3	3	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	20
	女	6	7	6	6	8	8	8	9	8	8	6	6	86
	計	9	10	8	7	9	9	9	10	9	10	8	8	106
要介護 5	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
	女	9	8	8	8	7	6	6	6	5	5	5	4	77
	計	10	9	9	9	8	7	7	7	6	5	5	4	86
総合計 (人)	男	8	8	7	6	7	7	7	8	8	8	8	9	91
	女	23	23	25	25	25	23	23	24	22	24	22	21	280
	計	31	31	32	31	32	30	30	32	30	32	30	30	371

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

入所／退所状況年間集計一覧表

2021/04/23 10:04:41
3 / 3

対象年度 : 令和02年度

特別養護老人ホーム きしがわ園

サービス種類: 全て

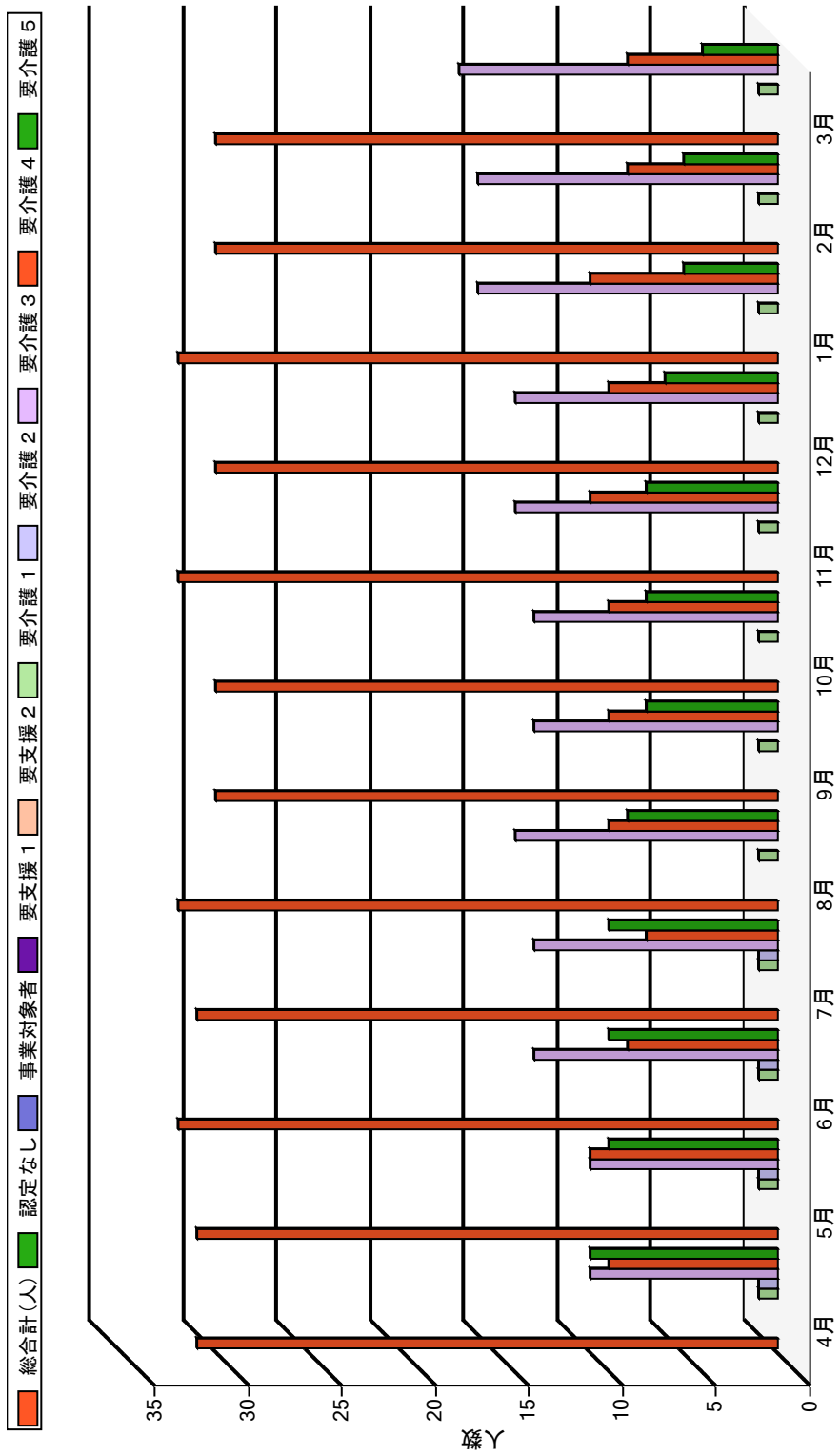
分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所後状況	介護療養型医療施設入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所後状況の合計	1	3	2	1	3	0	0	2	1	2	0	2	17

要介護度別利用者数（スケジュール）（棒グラフ）

2021/04/23 10:09:05
2 / 2

特別養護老人ホーム きしがわ園

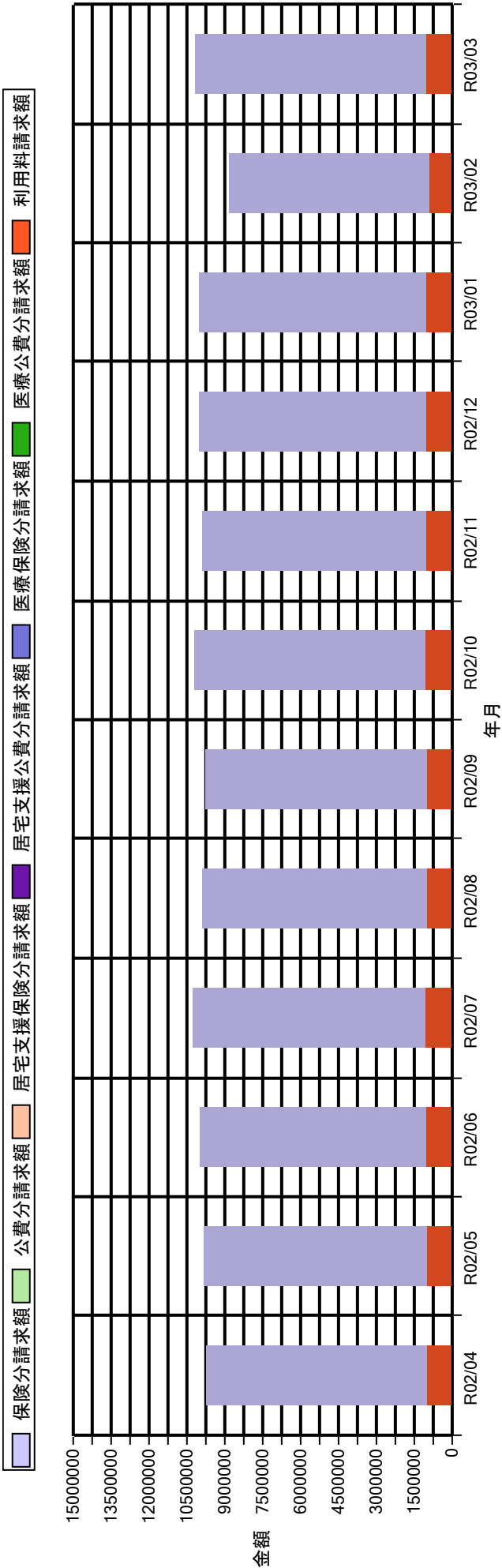
対象年度： 令和02年度 出力形式： 実人数 サービス種類： 全て



年間請求分析

対象期間： 令和02年04月 ～ 令和03年03月
集約条件： サービス提供年月

特別養護老人ホーム きしがわ園



	R02/04	R02/05	R02/06	R02/07	R02/08	R02/09	R02/10	R02/11	R02/12	R03/01	R03/02	R03/03
保険分請求額	8,718,743	8,824,904	8,938,739	9,192,813	8,874,602	8,769,044	9,140,982	8,857,892	8,986,436	8,982,672	7,903,537	9,117,647
公費分請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,752
居宅支援保険分請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅支援公費分請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療保険請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療公費請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用料請求額	1,006,687	1,019,696	1,031,081	1,060,587	1,025,218	1,012,226	1,054,828	1,022,098	1,037,644	1,037,238	913,533	1,038,471
合計	9,725,430	9,844,600	9,969,820	10,253,400	9,899,820	9,781,270	10,195,810	9,879,990	10,024,080	10,019,910	8,817,070	10,169,870

年齢階層別利用者状況表

2021/04/23 10:08:08

1 / 1

実績期間 : 令和03年03月01日 ~ 令和03年03月31日

特別養護老人ホーム きしがわ園

基準日 : 令和03年03月31日

サービス種類 : 全て

年齢	男性	女性	計
65才未満	0	0	0
65～70	2	0	2
70～75	1	0	1
75～80	0	1	1
80～85	3	4	7
85～90	0	6	6
90～95	2	5	7
95～	1	5	6
合計	9	21	30
平均年齢	81才1ヶ月	89才2ヶ月	86才9ヶ月

利用者平均要介護度（折れ線グラフ）

2021/04/23 10:29:00
1 / 2

対象年度：令和02年度

特別養護老人ホーム きしがわ園

サービス種類：全て

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均要介護度	男	3.4	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	2.9	2.9	3.0	3.1
	女	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8
	平均	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.7

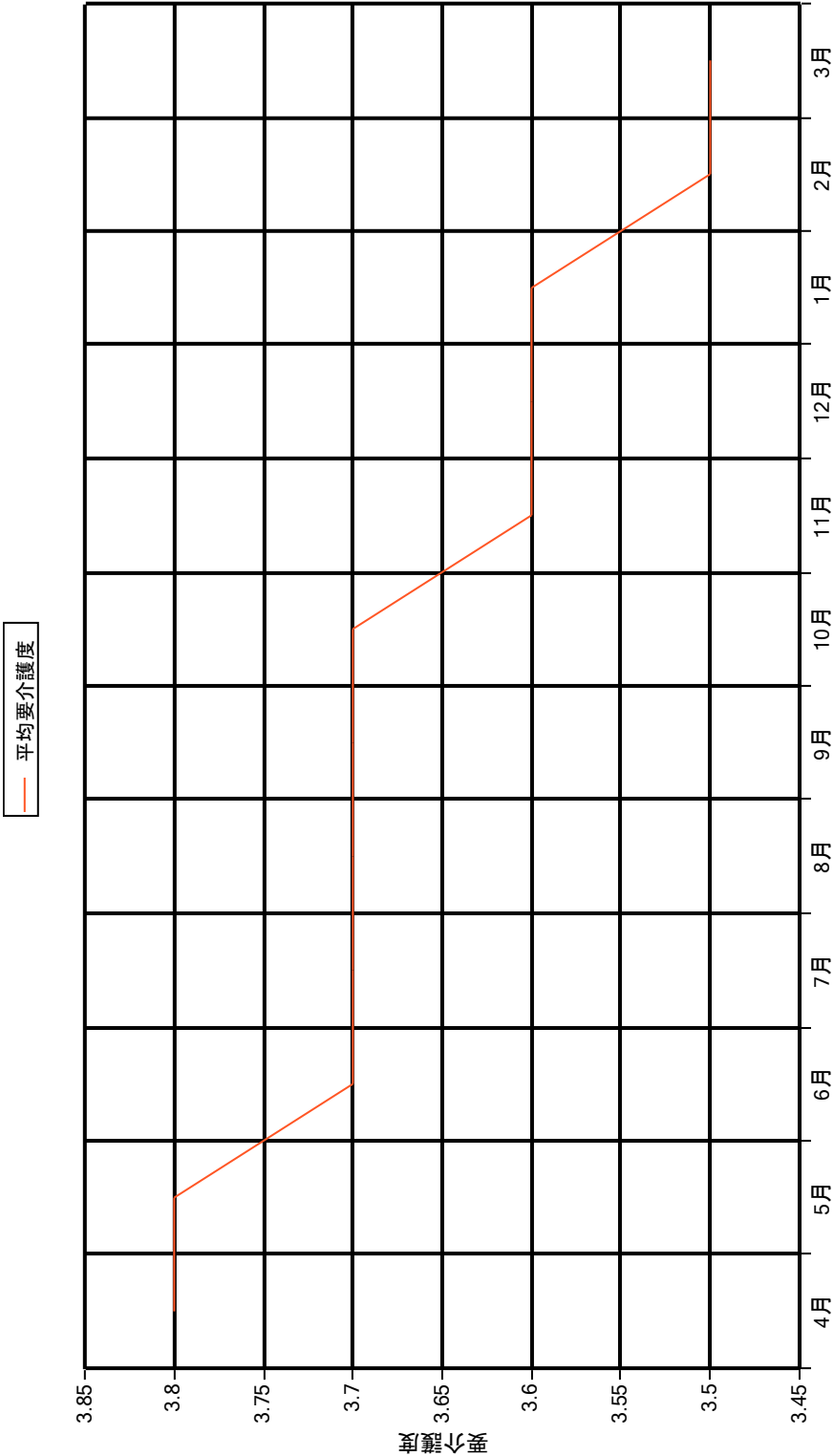
（注1）該当月末日時時点で有効な要介護度より算出しています。

（注2）小数点以下第2位を四捨五入しています。

利用者平均要介護度（折れ線グラフ）

対象年度：令和02年度

サービス種類：全て



令和 2 年度 事業報告書

地域密着特別養護老人ホームきしがわ園

令和２年度 地域密着特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

1. 令和２年度目標額 81,320,000 円
2. 令和２年度達成額 82,333,298 円
3. 目標に対しての達成率 101%

4. 目標達成について

今年度は利用日数 7,212 床で内、空床は 88 床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内 0 床となっている。年間 20 床がすべて満床としての稼働率は 98.7% である。計画の目標平均介護度は 4.2 であったが、実績での平均介護度は 4.1 となった。

平均介護度が下回ったが、計画での目標稼働率は 97% で、実績では 98.7% と上回ったことが達成率 101% の要因と考えられる。

空床は前年度は 224 床であったが、令和２年度は 88 床と大幅に減少した。内訳として入院による空床が 53 床、退所後の入所までの空床が 35 床であった。要因として、前年度より入居者が比較的に安定しており、入院日数が減少したこと。また、退所してから空白を空けずに迅速に入所への移行ができたことが挙げられる。特に退所してから入所への移行に関しては、短期入所生活介護の長期入所から 1F への入所は、施設内でのアセスメント等が可能であるためにスムーズな入所手続きにて入所までに要する日数が短縮できるメリットがある。空床利用については、短期入所の稼働率が 100% を超えなかったために、1 床も活用ができなかった。今年度は待機者がスムーズに入居できるように退所者の的確な状況把握と事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図る。稼働率を上げる維持が重要であり、今後も待機者の確保のため居宅介護支援事業・病院への周知により、ショート・施設共に満床利用を心掛け、目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できました。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴し、体調不良等で入浴できない方の場合には日程変更等して実施を行った。
- ③ レクリエーション、行事についてはその季節に合わせた内容で行い、入居者が楽しく過ごして頂けるよう努めた。ただ、外出行事等についてはコロナ禍のために行えなかった。
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生のリスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。

しかし、普段の連携については、新型コロナ禍において面会制限をしていたこともあり、少し対応に苦慮した。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

入居者の介護度の重度化、事故対策検討会議の定期的開催により1つ1つの事故対策を講じた事、ヒヤリハットによる要因分析等により事故が未然に防げた。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修（コロナ禍のため、オンライン研修の参加となった。）の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

認知症・人権等研修の参加により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や論理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

新型コロナウイルス感染症のため、ボランティアや実習生等の受け入れ、外出事は中止した。そのために、地域との連携・交流については行えていない。

13. 運営推進会議の開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、入居者への感染を抑えるために施設内への立ち入りは制限した。そのために運営推進会議は年間を通して非開催となった。2ヶ月に一回、間接的に文書での活動状況を報告し、必要な要望・助言等を頂けるように努めた。

今後も入居者、家族との信頼関係の構築に努め、かつ職員の質の向上、個人を尊重した介護の統一により、入居者が安心して楽しく生活してもらえるよう努めたい。

以上

年間行事実績報告書(令和2年度)

地域密着きしがわ園

月 日	行 事	参加者数
4月1日	お誕生日会	18名
4月13日	びゅあカットサービス	10名
5月6日	お誕生日会	14名
5月10日	母の日	13名
6月8日	びゅあカットサービス	11名
6月10日	お誕生日会	18名
7月1日	七夕会	16名
7月13日	びゅあカットサービス	9名

月 日	行 事	参加者数
8月5日	お誕生日会	15名
9月14日	びゅあカットサービス	10名
9月21日	敬老会(コロナ禍のため各階で実施。記念品等)	18名
10月7日	お誕生日会	18名
10月12日	びゅあカットサービス	10名
11月4日	お誕生日会	18名
11月9日	びゅあカットサービス	10名

月 日	行 事	参加者数
12月2日	お誕生日会	18名
12月14日	びゅあカットサービス	10名
12月23日	クリスマス会	18名
1月1日	元旦会	17名
1月6日	お誕生日会	17名
1月18日	びゅあカットサービス	10名
2月3日	お誕生日会	18名
2月8日	びゅあカットサービス	10名
3月3日	ひな祭り	15名
3月8日	びゅあカットサービス	10名
3月10日	お誕生日会	18名

在所期間別状況表

2021/04/23 09:35:32

1 / 1

基準日 : 令和03年03月31日

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ園

サービス種類: 全て

在所年数	男性	女性	合計
0 ~ 5	5 名	11 名	16 名
5 ~ 10	1 名	3 名	4 名
10 ~ 15	0 名	0 名	0 名
15 ~ 20	0 名	0 名	0 名
20 ~ 25	0 名	0 名	0 名
25 ~ 30	0 名	0 名	0 名
30 ~ 35	0 名	0 名	0 名
35 ~ 40	0 名	0 名	0 名
40 ~ 999	0 名	0 名	0 名
計	6 名	14 名	20 名
平均在所期間	2 年 11 ヶ月 （ 1068.0 日）	3 年 5 ヶ月 （ 1254.0 日）	3 年 3 ヶ月 （ 1199.0 日）

入所／退所狀況年間集計一覽表

対象年度
：
令和2年度

サービス種類：全て

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ園

[illegible]

2021/04/23 09:37:15

地域密着特別養護老人ホーム園

1/3

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所前状況	居宅	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護老人福祉施設	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入所前状況の合計	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所理由	介護者不在	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家庭不和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公的理由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護困難	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	施設転園	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	独居	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	入所理由の合計	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4

[illegible]

入所／退所状況年間集計一覧表

2021/04/23 09:37:15
3 / 3

対象年度 : 令和02年度

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ園

サービス種類: 全て

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所後状況	介護療養型医療施設入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所後状況の合計	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4

要介護度別利用者数（スケジュール）（棒グラフ）

2021/04/23 09:52:14
1 / 2

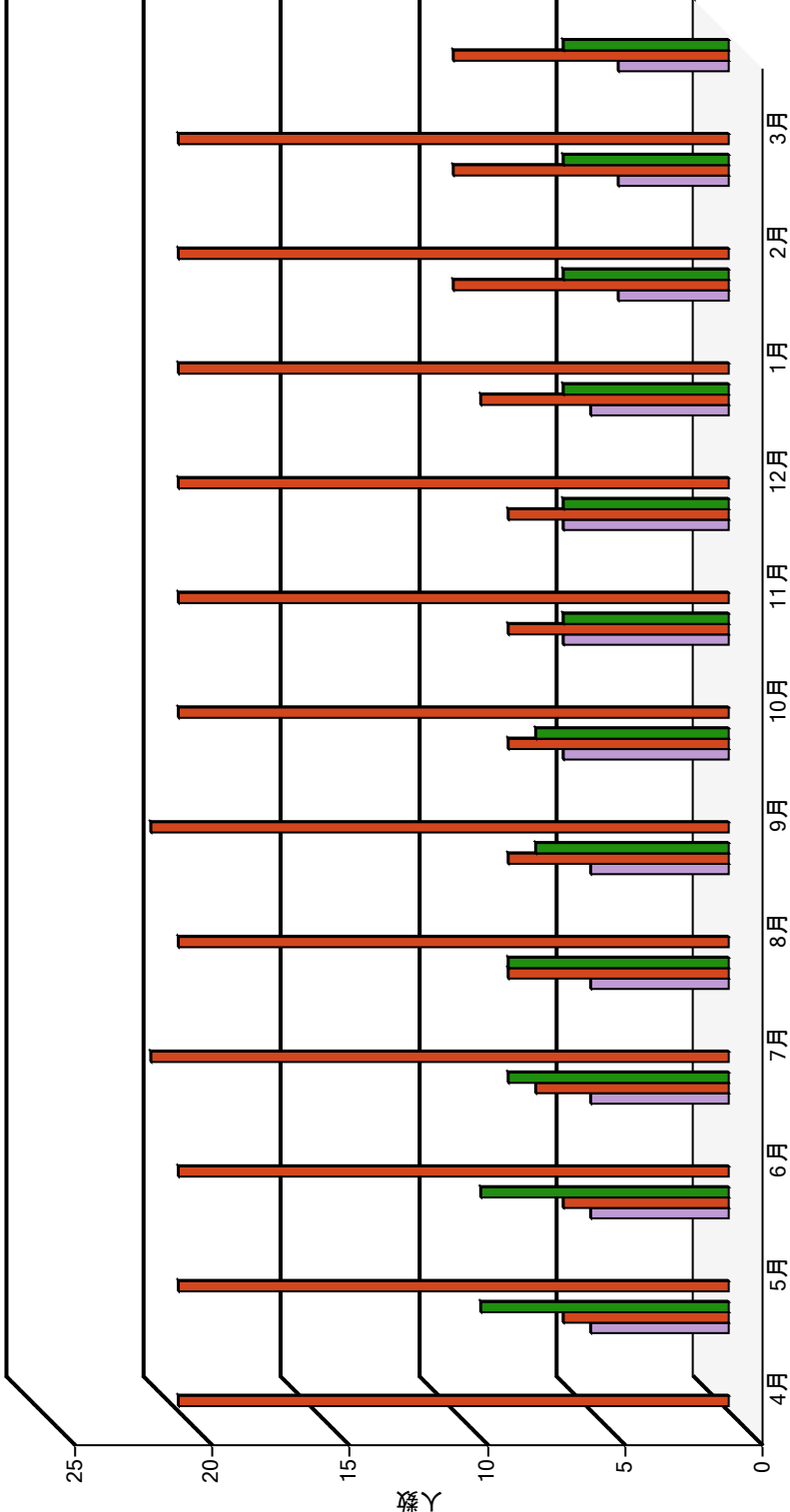
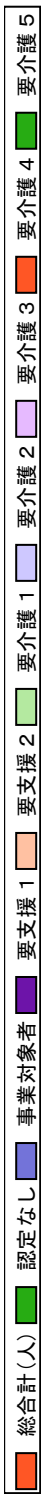
対象年度： 令和02年度 出力形式： 実人数 サービス種類： 全て 地域密着特別養護老人ホーム きしがわ園

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定なし	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業対象者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21
	女	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	39
	計	5	5	5	5	5	6	6	6	5	4	4	4	60
要介護4	男	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	49
	女	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	49
	計	6	6	7	8	8	8	8	8	9	10	10	10	98
要介護5	男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	8	8	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6	82
	計	9	9	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6	84
総合計 (人)	男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	女	14	14	14	15	14	15	14	14	14	14	14	14	170
	計	20	20	20	21	20	21	20	20	20	20	20	20	242

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

要介護度別利用者数（スケジュール）（棒グラフ）

対象年度： 令和02年度 出力形式： 実人数 サービス種類： 全て

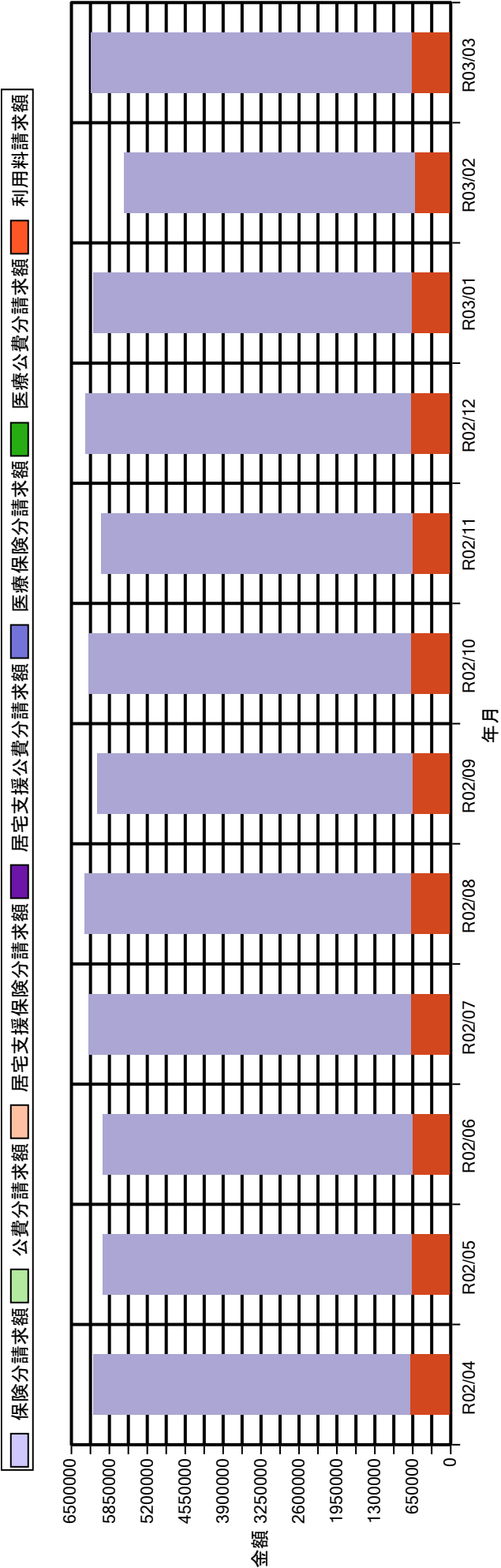


年間請求分析

対象期間： 令和02年04月 ～ 令和03年03月
集約条件： サービス提供年月

2021/04/23 09:40:20
1/1

地域密着特別養護老人ホームさがわ園



	R02/04	R02/05	R02/06	R02/07	R02/08	R02/09	R02/10	R02/11	R02/12	R03/01	R03/02	R03/03
保険分請求額	5,430,933	5,295,744	5,307,301	5,523,351	5,585,500	5,395,987	5,531,961	5,338,819	5,584,545	5,462,337	4,989,470	5,499,639
公費分請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅支援保険分請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅支援公費分請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療保険請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療公費請求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用料請求額	701,337	663,676	651,489	677,579	684,460	661,123	678,309	654,771	684,125	670,573	611,850	674,691
合計	6,132,270	5,959,420	5,958,790	6,200,930	6,269,960	6,057,110	6,210,270	5,993,590	6,268,670	6,132,910	5,601,320	6,174,330

年齢階層別利用者状況表

2021/04/23 09:44:27

1 / 1

実績期間 : 令和03年03月01日 ~ 令和03年03月31日

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ園

基準日 : 令和03年03月31日

サービス種類 : 全て

年齢	男性	女性	計
65才未満	0	0	0
65～70	1	0	1
70～75	1	0	1
75～80	0	1	1
80～85	3	1	4
85～90	0	5	5
90～95	0	6	6
95～	1	1	2
合計	6	14	20
平均年齢	81才0ヶ月	88才7ヶ月	86才4ヶ月

利用者平均要介護度（折れ線グラフ）

2021/04/23 09:54:49
1 / 2

対象年度：令和02年度

地域密着特別養護老人ホーム
さがわ園

サービス種類：全て

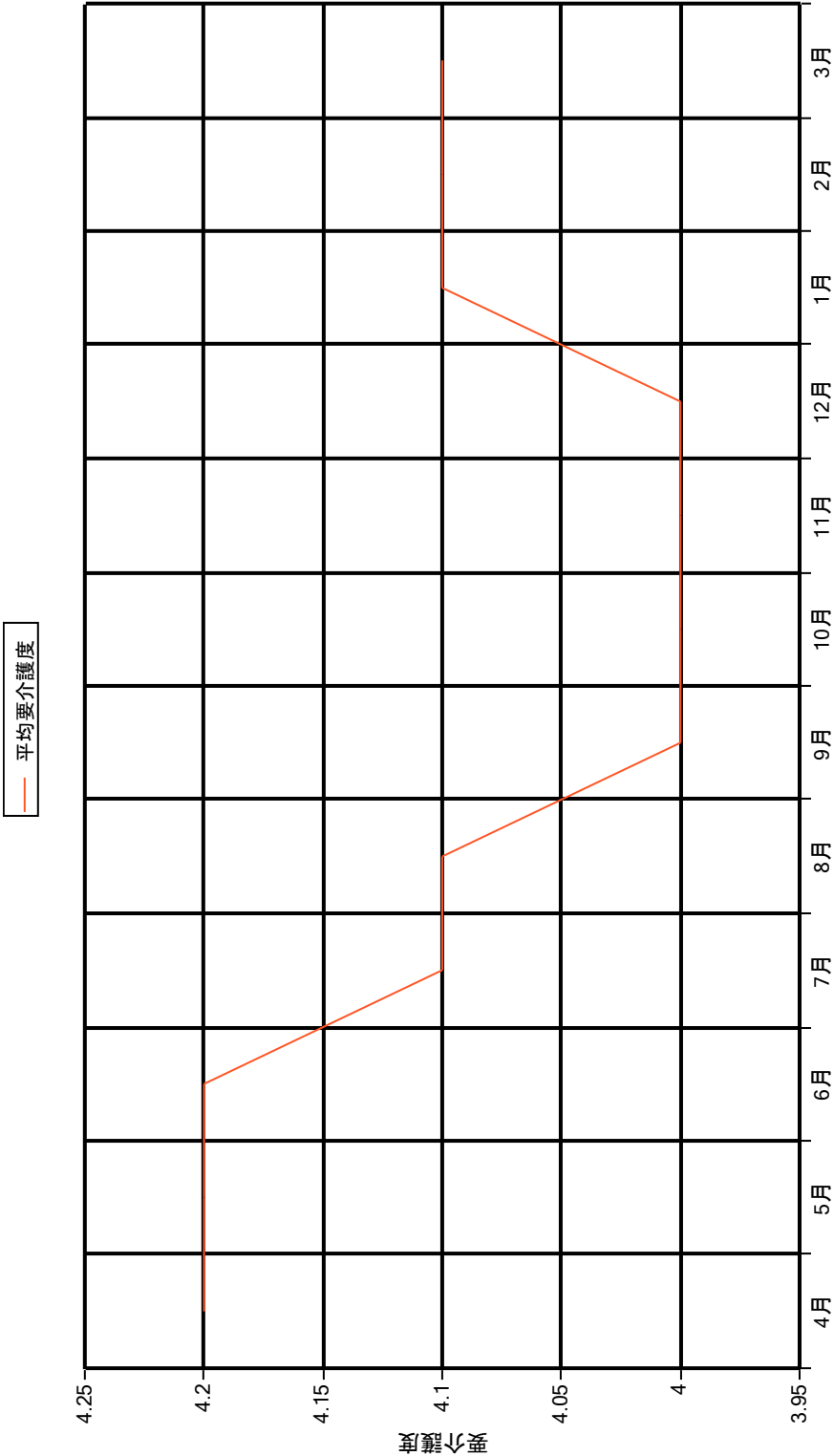
	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均要介護度	男	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7
	女	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3
	平均	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1

（注1）該当月末日時時点で有効な要介護度より算出しています。（注2）小数点以下第2位を四捨五入しています。

利用者平均要介護度（折れ線グラフ）

対象年度：令和02年度

サービス種類：全て



令和 2 年度 事業報告書

きしがわ園ショートステイサービス
第 2 きしがわ園ショートステイサービス

きしがわ園ショートステイサービス 令和2年度事業報告書

1.令和2年度目標額	77,520,000	円
令和2年度達成額	73,375,069	円
	95%	

2.目標未達成について

令和2年度は新規利用者は34名だった。ロングショート利用者はR3年3月時点では4名である。ただ障害者ショートのロング2名があり、計6名である。障害ショートロングは単価が高齢者より低いという短所があるが、空床を稼働でき安定した収入が得られる長所がある。ロング利用から入所される方が多く、迅速に空床を埋める事が出来なかった。また、退院後にロング利用を希望され、居室を確保するも利用に至らず、担当者との連絡を密に取る事が出来なかった。新規契約者は多くあったが、要介護度の低下と新規利用者を定期利用してもらう為の外部事業者へのアピールが足りなかった事も原因であった。

今後は、定期利用者也維持しながら、新規獲得することで稼働率を上げていく。入所前提ロング利用者を増やし稼働を安定させ、入所が空けば入所へスムーズに繋がられるようにしていく。

また、地域に根差した施設運営に取り組んでいくことや困難事例等の受け入れにより、信頼できる施設としての確立、利用の窓口である介護支援専門員との密な連携により、利用者を確保し、目標達成できるようにしていく。

3.事業計画の実施について

(1) サービス内容

全職員による検食の実施で日頃の食事の味付けや温度、量などを評価を行っている。また、委託業者の管理栄養士と当施設管理栄養士との日々の連携と毎月1回の給食会議において現場からの意見を吸い上げることで、より良い食事の提供に取り組んでいる。また、慢性的な疾患を抱える様々な利用者に対して管理栄養士の指導に基づいて低栄養や脱水症状にならないように健康状態に合わせて調理方法を工夫し、嗜好メニューを取り入れるように連携を図った。

(2) 家族との連携

新型コロナ禍にあつて少しコミュニケーションに欠けた部分もあり、契約時のサービス内容・料金等の説明を丁寧に行い、安心感を持って利用できるよう心掛けた。また、送迎時毎に利用状況等の説明を行い、普段家族様には見えない施設での状況を説明するなどのコミュニケーションをさらに積極的にとり、信頼関係を構築できるよう努めた。

- (3) 機関・他事業所との連携
包括センター・居宅介護支援事業所のケアマネ等からの相談に対して迅速かつ丁寧に対応し、受け持ち利用者のショート利用に対応した。また、実績等の報告で直接事業所へ訪問し、担当者として顔を見える関係”作りに努めて事業所のPRを行い紹介しやすい事業所としての存在感を示した。
- (4) 身体拘束ゼロ
身体拘束防止委員会の開催で身体的な拘束以外にも心理的な拘束である”スピーチロック”について職員へのアンケート実施し、現状と今後の課題についての検討を行い、心理的拘束を無くすことへの取り組みを行った。また、定期的な研修、ミーティング等での職員への周知徹底にて、引き続き身体・心理的拘束ゼロを目指していく。
- (5) 苦情処理
苦情については、特に利用者側(本人、または家族)から介護スタッフの対応について苦情が主であった。双方のコミュニケーションの行き違いや、利用者側の思い違いが原因の一端でもあり、一連のショートステイ利用時での支援方法に間違いはなかったのか検証を行なった。また担当ケアマネジャーへの相談・協力依頼を含めて迅速・適切に対応した。結果として、事業所内外での当事者同士の話し合いや対応にて問題解決に結びつけ、また、職員に対しても指導やフォローも行った。今後も同じ苦情を繰り返すことが無いように指導やフォローを継続していくと共に職員のどのような言動が利用者・家族に心理的に受け取られるのかを意識できるように目指していく。
- (6) リスクマネジメント
事業所内で起こりうる利用者の事故等を未然に防ぐために、事故防止委員会を設置し、定期的な委員会を開催し、委員会で出た案に基づいて事故報告書の検証を通してミーティングでの職員への共有化を図り、防止に取り組んだ。
- (7) 職員の資質向上
法人理念及び経営方針の周知へ向けた取り組みを実施し、共通理解を徹底している。また、各専門職資格取得奨励と施設内勉強会・研修を継続的に実施。そして外部勉強会・研修会等への積極的参加を促した。日々のミーティング等でサービスやマナーの向上を目指し、介護の質を高めるように取り組んだ。
- (8) 法令順守、及び高齢者権利擁護、虐待防止の徹底
認知症研修や人権研修に参加し、職員の知識向上を図った。また各委員会を通じて周知徹底を図り、利用者の人権を尊重したケアが出来た。

以上

要介護度別利用実人数集計

2021/05/07 10:32:49

1 / 1

実績期間 : 令和02年04月 ~ 令和03年03月

きしがわ園ショートステイサービス

基準日 : 令和03年03月31日

サービス種類 : 全て

要介護度区分	男	女	計
認定なし	2	2	4
事業対象者	0	0	0
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	2	2
要介護 1	1	7	8
要介護 2	5	10	15
要介護 3	12	17	29
要介護 4	3	4	7
要介護 5	2	8	10
合計	25	50	75

要介護度別利用者数（スケジュール）（棒グラフ）

対象年度： 令和02年度 出力形式： 延べ人数 サービス種類： 全て きしがわ園ショートステイサービス

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定なし	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	12	0	17
	計	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	12	0	17
事業対象者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	23	24	23	24	24	28	31	29	34	34	34	37	345
	計	23	24	23	24	24	28	31	29	34	34	34	37	345
要介護 1	男	0	0	0	0	9	4	0	0	8	8	8	8	45
	女	46	31	14	42	50	49	53	55	56	34	23	23	476
	計	46	31	14	42	59	53	53	55	64	42	31	31	521
要介護 2	男	40	9	10	23	31	17	5	7	0	16	0	0	158
	女	134	133	93	64	58	74	58	65	78	50	49	63	919
	計	174	142	103	87	89	91	63	72	78	66	49	63	1,077
要介護 3	男	59	92	70	77	51	63	93	88	113	104	117	121	1,048
	女	17	109	111	107	132	86	118	109	102	102	92	92	1,177
	計	76	201	181	184	183	149	211	197	215	206	209	213	2,225
要介護 4	男	0	0	0	14	8	0	0	5	0	6	13	1	47
	女	15	33	44	79	67	45	52	35	21	11	7	31	440
	計	15	33	44	93	75	45	52	40	21	17	20	32	487
要介護 5	男	3	10	10	11	21	38	39	40	24	10	12	10	228
	女	77	59	30	33	39	38	44	32	54	42	28	60	536
	計	80	69	40	44	60	76	83	72	78	52	40	70	764
総合計 (人)	男	102	111	90	125	120	122	137	140	145	144	150	140	1,526
	女	312	389	320	349	370	320	356	325	345	273	245	306	3,910
	計	414	500	410	474	490	442	493	465	490	417	395	446	5,436

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

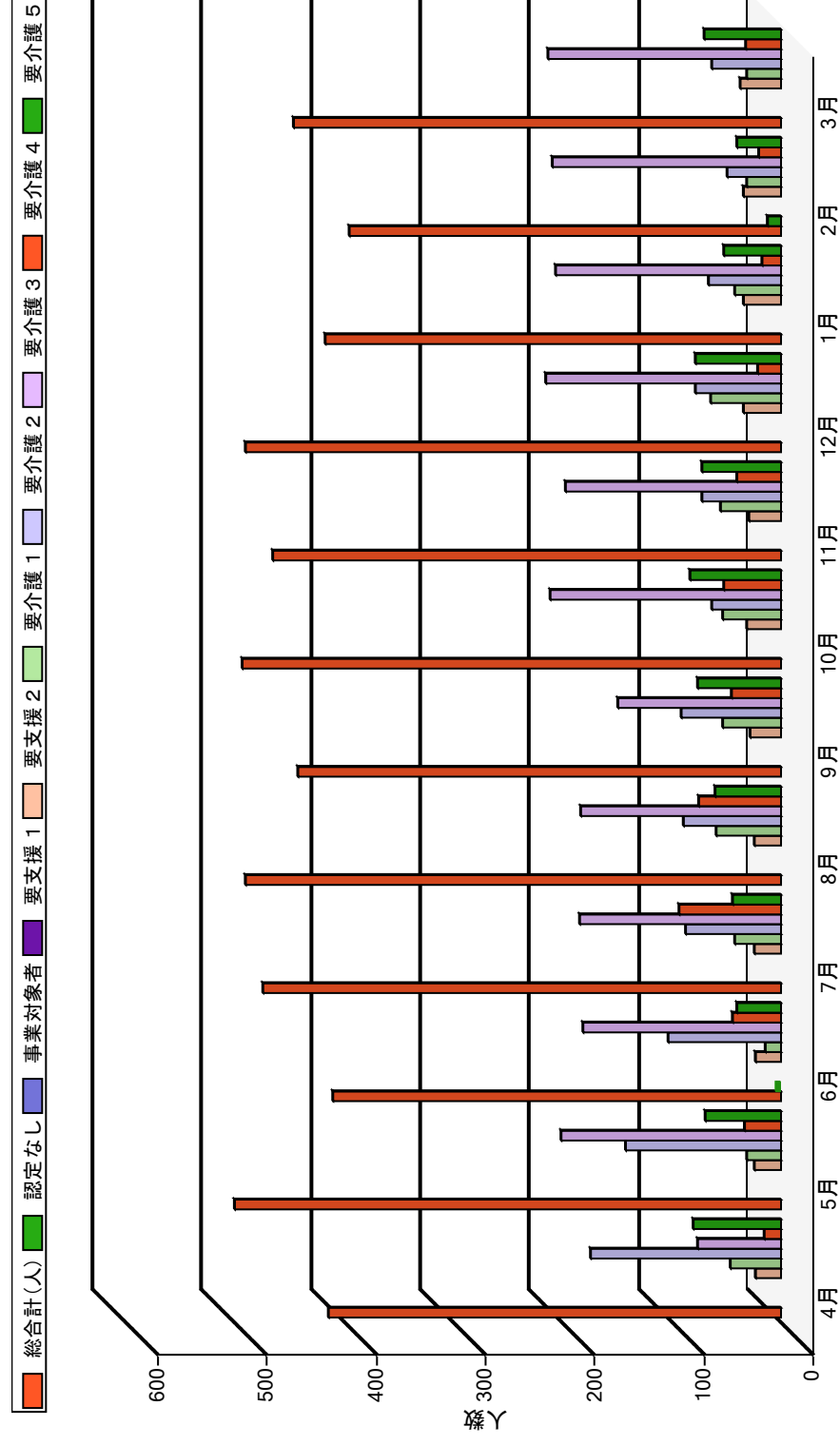
要介護度別利用者数（スケジュール）（棒グラフ）

2021/05/07 10:28:44
2 / 2

対象年度：令和2年度 出力形式：延べ人数

サービス種類： 全て

きしがわ園シヨートステイサービス



利用者平均要介護度（折れ線グラフ）

2021/05/07 10:31:09
1 / 2

対象年度 ： 令和02年度

さがわ園シヨーステイサ-
ビス

サービス種類： 全て

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均要介護度	男	2.7	3.1	3.1	3.1	3.0	3.4	3.5	3.6	3.2	3.0	3.1	3.0	3.2
	女	2.7	2.8	2.8	2.9	2.8	2.7	2.8	2.6	2.6	2.7	2.6	2.9	2.7
	平均	2.7	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	2.9

（注1）該当月末日時時点で有効な要介護度より算出しています。 （注2）小数点以下第2位を四捨五入しています。

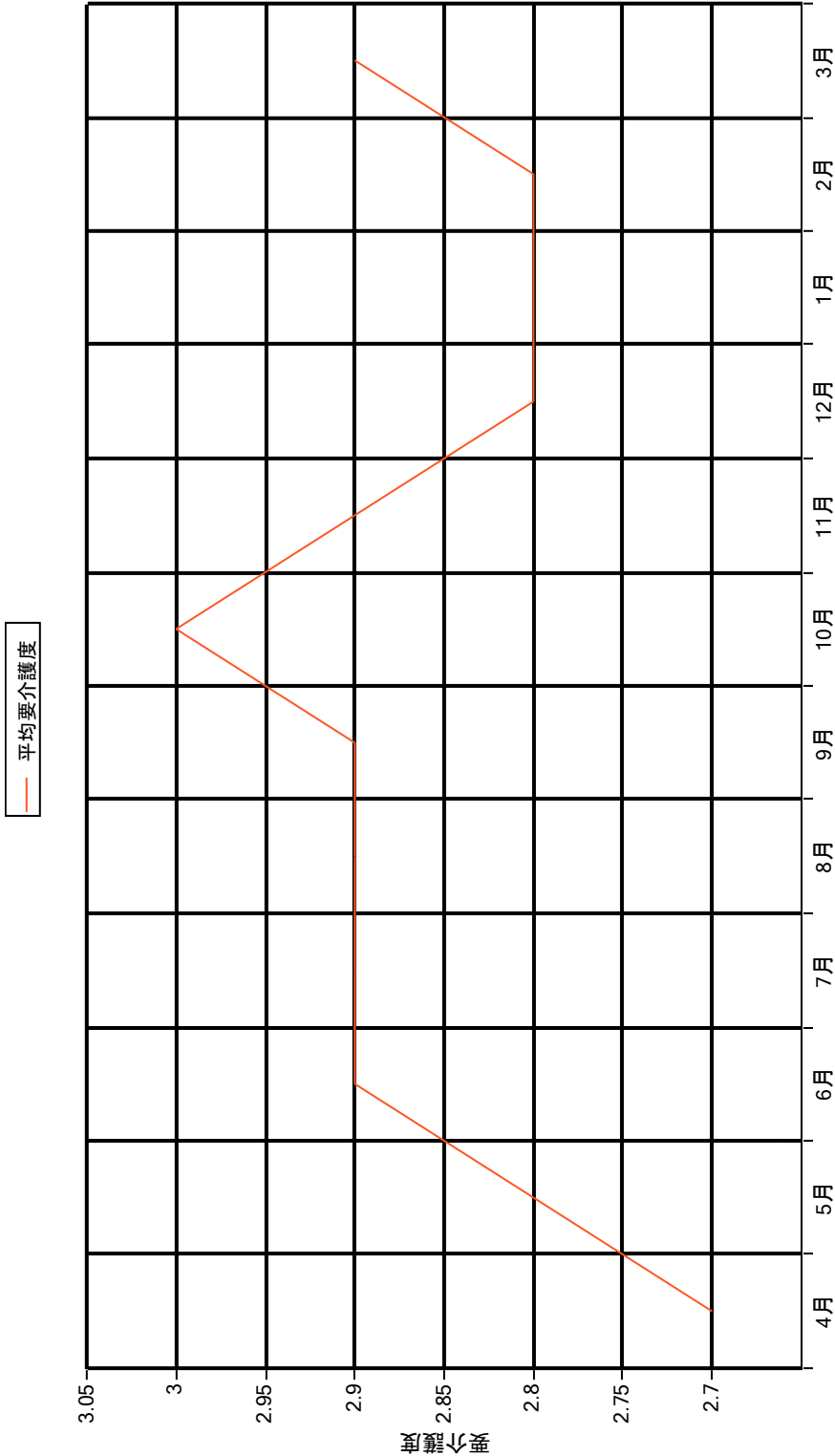
利用者平均要介護度（折れ線グラフ）

2021/05/07 10:31:09
2 / 2

対象年度：令和02年度

きしがわ園シヨーステイサービス

サービス種類：全て



令和 2 年度 事業報告書

デイサービスセンターきしがわ園

令和 2 年度デイサービスセンターきしがわ園事業報告書

1. 2 年度達成額：57,612,858 円

2. 2 年度目標額：69,820,000 円

3. 達成率： 82.5%

4. 目標未達成について

新型コロナウイルス感染予防のため、一時利用中止される方もいましたが、予想できなかったことは、軽度者より重度者の利用が多くなり、独居による不安や老老介護による介護負担軽減のため、入院・ショートステイ利用の希望者が増えたことが稼働率低下の要因の一つである。また、新規獲得するにあたり、新規相談はあるが契約に繋がらなかったことも目標額を下回った。

- ・各他事業所を体験比較することで、当事業所が選択されなかったこと。
- ・利用前に入院となり、退院後は他事業所への利用となったこと。
- ・入院→退院後、入浴介助希望の方が、自宅で入浴可能となり必要なしとのこと。
- ・新型コロナウイルス感染による不安により、集団環境の場には行けないとのこと。
- ・困難事例により、当事業所よりお断りしたこと。

5. 事業計画の実施について

1、通所介護事業・介護予防通所介護事業・日中一時支援事業（障害サービス）。

2、年末年始を除く月曜日から土曜日、祝日の事業の実施。

8 月より、一日あたりの定員 35 名→30 名する。

3、介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、通所介護計画書及び通所介護予防計画書を作成し、利用者一人ひとりの身体状況・精神状況やニーズを把握した上で、そのサービスが適切かつ個別的に居宅サービス計画に沿ったサービス提供ができた。その結果、プロセス評価・結果評価ができ、見直しを行い再アセスメントができた。

4、利用者様のご家族にとっても心身のゆとりが持てる時間を提供でき、またご家族が安心して利用者様を当事業所に預けられるよう、ご家族に対しても常日頃から積極的にコミュニケーションをとる事で、更に当事業所と利用者・ご家族様との良好な信頼関係を築き、お互い協力し合える環境を作るように努めています。

- 5、 選択性のレクリエーションを取り入れることで、利用者様のニーズに応じたレクリエーションを行い、音楽療法や介護体操を加えることで自立支援に向けた。また四季折々の行事やクッキングなどの行事については、新型コロナウイルス感染対策を考慮しながら実施した。(地域のボランティアの活用は中止)
- 6、 利用者様の自立支援に向けて、紀の川市が推奨する「てくてく体操」を実施し、職員による歩行訓練・集団体操を積極的に行うことができた。専門分野では、貴志川リハビリテーション病院と連携をし生活機能連携向上加算も算定しており、理学療法士による機能訓練を行うことができた。また、低栄養状態の改善に向け食事形態などの考慮など栄養士や職員、ケアマネジャーやご家族とも連携し栄養改善に努めています。また嗜好調査も行い、食事の提供もさせて頂いています。利用者様一人ひとりに合った口腔ケアは実施できていますが、自宅でも適切な口腔ケアができるかの調査確認はできていないため、支援や指導ができるよう努めていきたいと思います。
- 7、 通所介護事業所の職員としての専門性を高める為、またより良いサービスを提供できるように外部・内部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めています。
- 8、 事故対応については迅速に対応し、事故を回避する為に報告書等を作成し、報告内容を基に職員間でPDCAサイクルを活用し、利用者様やご家族の信頼回復に努めています。また危険予知トレーニングなどの勉強会を当事業所内で行い、リスクマネジメント「介護中に起こり得る事故をあらかじめ予測しておくことで、可能な限り未然に防ぐこと」の徹底に努めています。
- 9、 デイサービスの今後の展開について
中重度加算・生活機能訓練向上加算の算定。「時間短縮」「入浴のみ」の利用も積極的に受け入れ顧客数の獲得を目指しましたが、一日あたりの利用定員数を更に25名にすることでサービス内容や人員体制について併せて検討し、認知症DSや午前・午後のDSへの展開、事業所間の繋がりを強化し情報共有に力を入れ、予防・介護の新規利用者の発掘と獲得に努めていく。

年 間 行 事 表

デイサービスセンターきしがわ園

	行 事	場 所	実 施 日
4月	お花見昼食会	デイフロアー	3日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	9日(木)～11日(土)
	クッキング	デイフロアー	24日(金)
5月	書道デッサン	デイフロアー	4日(月)～6日(水)
	クラフト	デイフロアー	14日(木)18日(月)26日(火)
	クッキング	デイフロアー	19日(火)
6月	書道デッサン	デイフロアー	4日(木)～6日(土)
	クラフト	デイフロアー	8日(月)10日(水)11日(木)
	クッキング	デイフロアー	18日(木)
7月	書道デッサン	デイフロアー	6日(月)～8日(水)
	流しそうめん	デイフロアー	7日(火)
	クッキング	デイフロアー	24日(金)
8月	書道デッサン	デイフロアー	6日(木)～8日(土)
	クラフト	デイフロアー	10日(月)13日(木)18日(火)
	クッキング	デイフロアー	12日(水)
9月	書道デッサン	デイフロアー	7日(月)～9日(水)
	クラフト	デイフロアー	10日(木)14日(月)22日(火)
	クッキング	デイフロアー	17日(木)
	敬老会	デイフロアー	21日(月)
10月	書道デッサン	デイフロアー	8日(木)～10日(土)
	クラフト	デイフロアー	12日(月)15日(木)20日(火)
	運動会	デイフロアー	18日(水)
11月	書道デッサン	デイフロアー	10日(月)～12日(水)
	運動会	デイフロアー	15日(水)
	クラフト	デイフロアー	19日(木)24日(火)30日(月)
12月	ちぎり絵	デイフロアー	2日(水)8日(火)12日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	3日(木)～5日(土)
	音楽療法	デイフロアー	7日(月)17日(木)
	忘年会	デイフロアー	16日(水)
	クリスマス会	デイフロアー	24日(木)
1月	書道デッサン	デイフロアー	11日(月)～13日(水)
	音楽療法	デイフロアー	15日(金)19日(火)
	新年会	デイフロアー	20日(水)
	介護体操	デイフロアー	27日(水)30日(土)
2月	節分(豆まき)	デイフロアー	2日(火)
	音楽療法	デイフロアー	3日(水)27日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	4日(木)～6日(土)
	介護体操	デイフロアー	8日(月)18日(木)
	クラフト	デイフロアー	11日(木)16日(火)22日(月)
3月	書道デッサン	デイフロアー	1日(月)～3日(水)
	介護体操	デイフロアー	5日(金)23日(火)
	音楽療法	デイフロアー	11日(木)29日(月)

※毎月の行事
書道、デッサン